



岡崎 勲 (東海大学 国際医療保健協力センター長・教授)



慶応義塾大学医学部卒業。東海大学医学部において1996年より将来予測に基づく国際保健指導者養成コースを開設し、各国政府幹部を毎年10名内外、4～5週間招聘する教育事業を行ってきた。大学では医学部学生に社会医学を教育する責任者、日本公衆衛生学会では学会誌編集委員長、神奈川県健康日本21運動の策定・推進の責任者を務めている。

東海大学「21世紀保健指導者養成コース」10周年記念講演会

「日本の医療・保健・福祉をアジアの中で考える」



東海大学「21世紀保健指導者養成コース」10周年記念事業事務局
東海大学大学院医学研究科国際医療保健協力センター
東海大学医学部基盤診療学系公衆衛生・社会医学

事務局長 岡崎 勲 (教授)
渡辺 哲 (助教授)、稲垣 豊 (助教授)
木ノ上高章 (講師)、渡辺 良久 (講師)
相川 浩幸 (講師)、古屋 博行 (講師)
寺門 佐智子 (事務)、小野塚 久子 (事務)
〒259-1193 神奈川県伊勢原市望星台
Tel 0463-93-1121 内線2620, 2002
Fax 0463-92-3549

Home Page: <http://rcihd-nhln.med.u-tokai.ac.jp/>
E-mail: rcihd@m.med.u-tokai.ac.jp

日 時：2005年9月28日(水) 13:00開場
13:25開演 16:30終了

会 場：浜離宮朝日ホール・小ホール
東京都中央区築地5-3-2 電話 03(5541)8710

主 催：東海大学 大学院医学研究科 国際医療保健協力センター
New Health Leader Network

共 催：(財)国際科学振興財団

後 援：世界保健機関 西太平洋事務局(WHO-WPRO)
厚生労働省、外務省、国際協力機構、日本医師会

協 賛：日本経済団体連合会、日本製薬団体連合会

東海大学「21世紀保健指導者養成コース」10周年記念講演会

「日本の医療・保健・福祉をアジアの中で考える」

プログラム

13:25 p.m. **開演挨拶** **岡崎 勲**(東海大学大学院医学研究科
国際医療保健協力センター長・教授)

13:30 p.m. **基調講演「国際感染症とどう向き合うか」**
演者 **尾身 茂**(WHO西太平洋地域事務局長)
座長 **岡崎 勲**(東海大学)

14:30 p.m. 休憩

14:40p.m. ~ 16:30 p.m. **パネルディスカッション** 司会 **岡崎 勲**(東海大学)

パネリスト

尾身 茂(WHO西太平洋地域事務局長)

黒川 清(日本学術会議会長)

武見 敬三(参議院議員)

近田 真知子(NGO 地球市民の会かながわ 事務局長)

根本 悦子(NGO Bridge Asia Japan 理事長)
(敬称略)

尾身先生の話を中心に、アジアで生活する人々の健康をどう発展させるか。国際交流の必要性、国際協力の必要性、国際保健医療協力の必要性、アジアの安全保障につながる問題、アジアで活躍するNGOの人たちが実際に現地で困っていること、現地の実情はどうなのか、NGOの人たちからの現地情報をネット化してSARSや鳥インフルエンザの早期予知に活かさないか。海外からの労働者の健康管理、NGO活動へのOECD予算の配分などへも論議が進められたらと期待しています。

演者、パネリスト、司会者紹介（敬称略）

尾身 茂 (WHO西太平洋地域事務局長)



自治医科大学卒業後、離島等におけるへき地医療に従事。その後、WHO西太平洋事務局拡大予防接種計画課課長として、ポリオ(小児麻痺)根絶対策に取り組み、2000年に西太平洋地域におけるポリオ根絶を達成。1998年第5代事務局長に就任。2003年SARS流行の際、その封じ込めに大きな成果を上げた。現在は、鳥インフルエンザの人への感染対策などに力を注いでいる。

黒川 清 (日本学術会議会長)



東京大学医学部卒業後、カルフォルニア大学(UCLA)内科教授、東京大学医学部第一内科教授、東海大学医学部長を歴任し、2003年より日本学術会議会長。東京大学名誉教授、東京大学先端科学技術研究センター教授、東海大学総合科学技術研究所教授、内閣府総合科学技術会議議員、WHOコミッショナーなど日本の科学技術推進のリーダーとして活躍している。

武見 敬三 (参議院議員)



慶應義塾大学法学部研究科政治学専攻博士課程修了。東海大学教授、同大学平和戦略研究所教授を歴任。比例区選出参議院議員。自由民主党。当選2回。元外務政務次官。現在、参議院厚生労働委員会理事。自民党政調副会長。「3つの『守る(国民生活・国・国境を超えた人々)』」を理念とし、医療問題、福祉問題、外交問題に取り組んでいる。東海大学の保健指導者養成コースを第1回から支援している。

近田 真知子 (NGO 地球市民の会かながわ 事務局長)



東洋英和女子短期大学卒業。広告代理店などの企業経験の後1991年、子育ての間に偶然訪れたタイ国の巨大児童養護施設で、子ども達の悲惨な状況を見て国際協力の必要性を実感。帰国してNGO地球市民の会かながわ/TPAKを設立し現在に至る。タイ、ミャンマー、インドの山岳少数民族を中心に250校の子ども達の衛生、栄養、就学の支援活動をしている。

根本 悦子 (NGO Bridge Asia Japan 理事長)



卒業後、民間会社を経て(社)科学技術と経済の会で企画編集に従事。その後フリー編集者として「まともな食べ物ガイド」「ふれあいの医療ガイド」など、市民活動の紹介とその社会的認知に向け、シーズ＝市民活動を支える制度を作る会などにも参画。現在は、ミャンマー、ベトナム、スリランカの3カ国で国際協力活動を行う。